

平成31年度・令和元年度

事業報告書

元気館障害者

デイサービスセンター

目 次

1. 寄附	1
2. 生活介護	1
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用実績	2
3. 機能訓練	2
3-1 利用者の状況	2
3-2 利用実績	3
4. 地域活動支援センター	3
4-1 利用者の状況	3
4-2 利用実績	4
5. 一般相談支援事業	4
5-1 基本相談支援	4
5-2 地域移行支援	5
5-3 地域定着支援	5
6. 特定相談支援事業	6
7. 居宅介護事業（移動支援）	7
7-1 利用者の状況	7
7-2 利用実績	7
8. 保健衛生	7
9. 行事	8
10. 給食	8
11. 災害防護訓練	9
12. 職員の配置状況	10
13. 職員研修	10
13-1 内部研修	10
13-2 外部研修	11
14. ボランティアの受け入れ	12
15. 視察・研修・慰問の受け入れ	12
16. 実習の受け入れ	12
17. 苦情相談	12
18. 事業計画等に対する評価	12

平成31年度・令和元年度

事業報告

平成31年度・令和元年度は、柏崎市の指定管理第3期目の4年目である。柏崎市指定管理の最終年度に向けて、事業継続のための情報収集等に努めた。利用者一人一人のニーズに添い、「明るく楽しいデイサービス」を念頭に、サービス提供を継続した。

生活介護では、1日平均の利用人数が、20.5人から17.9人に減少した。利用者数の減少に伴い、定員変更（20名から18名）の申請を行った。平均障害支援区分は、4.6と変更がなかった。4名（令和2年3月31日現在）の利用者の医療的ケアのニーズへ対応（看護師配置）した。入浴と運動のニーズを中心に対応し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。令和2年2月から、強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。入浴ニーズへ対応するため、4月30日と5月2日に臨時営業した。

機能訓練では、1日平均利用者数が、0.7人から0.2人に減少した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。利用者数の減少に伴い、定員変更（6名から3名）の申請を行った。

地域活動支援センターⅡ型事業では、1日の平均利用者数（3回/月の土曜日利用含む）は10.3人となっており、昨年の10.2人に比較して0.1人の増加となった。生活リズムを整えることを目的とした利用（送迎サービス有）及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日の利用者向けに、長岡千秋の森と国営越後丘陵公園及びアルフォーレギャラリー（作品の出品）への外出を実施し、革細工・紙粘土作品・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。台風のため10月12日、新型コロナウイルス感染症予防のため3月14日、21日、28日を臨時休業日とした。

児童の放課後利用者（地域活動支援センターⅡ型事業、入浴ニーズへ対応）7名、児童長期休暇利用者8名を受け入れた。放課後等デイサービス事業（定員5名）の新規申請をし、児童のニーズへ沿ったサービス提供体制を整えた。

一般相談支援事業では、基本相談支援事業の実人員が71人（昨年度より24人増）、地域移行支援の実人員が2人（昨年度より1人増）、地域定着支援の実人員が7人（昨年度より2人増）、相談件数476件（昨年度より284件増）となっている。フォンジェ（柏崎ショッピングモール）内事務所開設準備を行った。

計画相談支援事業では、128人（昨年度より10名増）のサービス等利用計画を作成した。相談件数904件（昨年度より274件増）となった。法人内相談支援事業所のサービス等利用計画の独立性を担保し、今後の利用者ニーズへ対応するため、相談支援専門員4名（専従3、兼務1）による相談支援体制（令和2年度より開始）を整えた。

居宅介護224人（85人増）、行動援護10人（3人増）、同行援護（6人増）、重度訪問介護（4人増）、移動支援83人（1人減）、児童休暇利用等5人（2人減）となっている。各事業の利用人数が増加している中で、移動支援は新型コロナウイルス感染症予防のため利用者が減少し、児童休暇利用等については新規利用者がなかった。

以下、平成31年度・令和元年度の事業を報告する。

1. 寄附

なし

2. 生活介護

1日平均の利用人数が、20.5人から17.9人に減少した。利用者数の減少に伴い、定員変更（20名から18名）の申請を行った。平均障害支援区分は、4.6と変更がなかった。4名（令和2年3月31日現在）の利用者の医療的ケアのニーズへ対応（看護師配置）した。入浴と運動のニーズを中心に対応し、入浴においては、特殊浴槽を活用し最大限の受け入れを行った。令和2年2月から、強度行動障害支援者養成研修修了者を配置し重度障害者支援のため支援手順書に沿った支援を行った。介護用リフト使用方法に関する研修や理学療法士による事業所内研修を継続した。

入浴ニーズへ対応するため、4月30日と5月2日に臨時営業した。

2-1 利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性		5	11	2	18	47.3
女性		8	13	2	23	45.2
計		13	24	4	41	46.3

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		1	7	2	4	4	18
女性		1	3	2	6	11	23
計		2	10	4	10	15	41

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	12	4	2		18
女性	15	7	1		23
計	27	11	3		41

2-2 利用実績

(1日定員20人)

(単位:人)

月	登録者数	新規登録者数	終了者数	利用者数	利用率(%)	1日平均利用者数
4月	46		3	407	97.0	19.4
5月	43		3	372	93.0	18.6
6月	45	2		373	93.5	18.7
7月	47	2		416	95.0	19.0
8月	45		2	383	91.5	18.3
9月	44		1	346	91.5	18.3
10月	43		1	364	87.0	17.4
11月	43			348	87.0	17.4
12月	42		1	348	87.0	17.4
1月	42			323	85.0	17.0
2月	41		1	301	84.0	16.8
3月	41			336	80.0	16.0
年間合計		4	12	4,317	89.5	17.9

3. 機能訓練

1日平均利用者数が、0.7人から0.2人に減少した。利用者ニーズへ対応できる支援体制の継続に努めた。利用者数の減少に伴い、定員変更(6名から3名)の申請を行った。

3-1 利用者の状況 (令和2年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性						
女性			1		1	64.0
計			1		1	64.0

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性								
女性	1							1
計	1							1

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性					
女性	1				1
計	1				1

3-2 利用実績

(定員6人)

(単位:人)

月	登録者数	新規登録者数	終了者数	利用者数	利用率 (%)	1日平均利用者数
4月	1		1	7	6.7	0.4
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
1月	1	1		11	9.6	0.6
2月	1			9	8.3	0.5
3月	1			12	9.5	0.6
年間合計		1	1	39	3.3	0.2

4. 地域活動支援センター

1日の平均利用者数(3回/月の土曜日利用含む)は10.3人となっており、昨年の10.2人に比較して0.1人の増加となった。生活リズムを整えることを目的とした利用(送迎サービス有)及び利用者間の交流の機会の提供等へ対応した。土曜日の利用者向けに、長岡千秋の森と国営越後丘陵公園及びアルフォーレギャラリー(作品の出品)への外出を実施し、革細工・紙粘土作品・籐製品・ペーパークイリング・編み物の作品作りを行った。台風のため10月12日、新型コロナウイルス感染症予防のため3月14日、21日、28日を臨時休業日とした。

児童の放課後利用者(入浴ニーズへ対応)7名、児童長期休暇利用者8名を受け入れた。放課後等デイサービス事業(定員5名)の新規申請をし、児童のニーズに沿ったサービス提供体制を整えた。

4-1 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

①年齢別人数及び平均年齢

(単位:人)

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性	4	2	11	1	18	44.3
女性	6	2	17	1	26	45.0
計	10	4	28	2	44	44.7

②障害支援区分別人数

(単位:人)

区分	児童	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	4	10	1	2	1				18
女性	6	16	1	1	1			1	26
計	10	26	2	3	2			1	44

③身体、知的、精神の各障害

(単位:人)

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	計
男性	12	3	3		18
女性	15	5	6		26
計	27	8	9		44

4-2 利用実績

(定員10人)

(単位:人)

月	登録者数	新規登録者数	終了者数	利用者数	利用者率 (%)	1日平均利用者数
4月	41			210	92.0	9.2
5月	42	1		208	95.0	9.5
6月	44	3	1	226	99.0	9.9
7月	43	1	2	266	107.0	10.7
8月	42		1	228	95.0	9.5
9月	42			231	105.0	10.5
10月	44	2		259	113.0	11.3
11月	44			246	112.0	11.2
12月	45	1		240	105.0	10.5
1月	45			229	105.0	10.5
2月	45	1	1	222	106.0	10.6
3月	44		1	214	102.6	10.2
年間合計		9	6	2,779	103.0	10.3

5. 一般相談支援事業

相談支援専門員4名(専従2、兼務2)を配置し、柏崎市と刈羽村からの委託を受けて相談事業を実施した。基本相談支援事業の実人員が71人(昨年度より24人増)、地域移行支援の実人員が2人(昨年度より1人増)、地域定着支援の実人員が7人(昨年度より2人増)、相談件数476件(昨年度より284件増)となっている。第6期柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会の部会(サービス調整連絡会議、精神障害部会、子ども部会、相談支援連絡会)に相談支援専門員を派遣した。中越圏域相談支援事業連絡調整会議、中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会、厚生病院及び関病院と関係機関の連絡会等(新型コロナウイルス感染症予防のため書面会議を含む)へ参加し関係機関との連携に努めた。

県内他法人の相談支援事業所2か所を見学した。法人内事業所と連携して、フォンジェ内事務所開設準備を行った。

5-1 基本相談支援

①基本相談支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	51	97	4	102	200			
障害児	20	8	4	32	4			2
計	71	105	8	134	204			2

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	40	53	26	206	5	7	131	8	476

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	241	16	46	73		17	17

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	14	12	5		35	476

5-2 地域移行支援

①地域移行支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	2				27		5	
障害児								
計	2				27		5	

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	9		4	8		4	14		39

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	19	2	5			1	

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	1			8	3	39

5-3 地域定着支援

①地域定着支援を利用している障害者等の人数

(単位:人)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	7	1		3				
障害児								
計	7	1		3				

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数			1	3					4

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数			1	3			

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数						4

6. 特定相談支援事業

128人（昨年度より10名増）のサービス等利用計画を作成した。、相談件数904件（昨年度より274件増）となった。法人内相談支援事業所のサービス等利用計画の独立性を担保し、今後の利用者ニーズへ対応するため、相談支援専門員4名（専従3、兼務1）による相談支援体制（令和2年度より開始）を整えた。

強度行動障害支援者養成研修（実践研修）、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、「精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法に関する研修」受講者が継続して相談業務を行った。

①計画相談支援を利用している障害者等の人数

（単位：人）

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	109	272	79	163	68	58	11	
障害児	19	50	29	16	1			
計	128	322	108	179	69	58	11	

②支援方法

	受信・発信共に計上								計
	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	
件数	96	32	19	237	18	209	284	9	904

③支援内容

	福祉サービスの利用等	障害病状の理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	579	16	115	9	1	39	36

	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計
件数	15	24	3	6	61	904

7. 居宅介護（移動支援）事業

居宅介護224人（85人増）、行動援護10人（3人増）、同行援護（6人増）、重度訪問介護（4人増）、移動支援83人（1人減）、児童休暇利用等5人（2人減）となっている。各事業の利用人数が増加している中で、移動支援は新型コロナウイルス感染症予防のため利用者が減少し、児童休暇利用等については新規利用者がなかった。

各事業のサービス提供にあたり、サービス提供責任者を中心にサービス提供内容の引継ぎ体制を整備（手順を明確にした書面を活用）し、各訪問介護員の研修計画（令和2年度実施）を作成した。

7-1 利用者の状況（令和2年3月31日現在）

①年齢別人数及び平均年齢

（単位：人）

年齢	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計	平均年齢
男性		3	7	1	11	49.6
女性		1	5		6	51.5
計		4	12	1	17	50.6

②障害支援区分別人数

（単位：人）

区分	区分なし	1	2	3	4	5	6	計
男性	1		5	2		1	2	11
女性			4	1			1	6
計	1		9	3		1	3	17

③身体、知的、精神の各障害

（単位：人）

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	高次脳機能障害	発達障害	計
男性	6	1	3	1		11
女性	3	1	2			6
計	9	2	5	1		17

7-2 利用実績

（単位：人）

月	居宅介護	行動援護	同行援護	重度訪問介護	移動支援	備考
4月	18	1	2	1	5	
5月	17	1	2	1	5	
6月	18	1		1	8	
7月	20	1		1	11	児童休暇利用等2
8月	19	1	1	1	10	児童休暇利用等3
9月	17	1		1	7	
10月	18	1	1		8	
11月	19	1	1	1	8	
12月	22	1		1	6	
1月	19	2		1	7	
2月	19	1			5	
3月	18	1	1		3	
計	224	13	8	9	83	児童休暇利用等5

8. 保健衛生

8月に利用者がO-157（腸管出血性大腸菌感染症）に罹患したとの報告を受けるが、その後の感染の拡大はなかった。11月から職員のマスク着用を開始し、インフルエンザの予防に努めた。11月には、ノロウイルスを想定した吐物処理研修を行った。3月は、新型コロナウイルスの感染症の流行に伴い、利用者

(職員)等の検温等の利用(勤務)前の体調把握、事業所内の環境改善等、感染予防に努めた。

月	内 容
5月	インフルエンザ感染症マニュアル更新
6月	薬、医療器具等の安全な管理体制の整備(預り書の整備等)
6月～9月	熱中症の予防
10月	手洗いの励行、インフルエンザ予防接種実施の注意喚起
11月	吐物処理デモンストレーション研修
11月～3月	ノロウイルス・インフルエンザ等の予防
3月	新型コロナウイルス感染症対応

9. 行事

5月と11月に音楽ウイークを実施し、利用者の楽しみにつながった。エアロビクス講師を依頼して音楽に合わせて運動することができた。季節に応じた行事を実施することにより、利用者の喜びにつながった。

月	日	行 事
5月	11日(土)	長岡クラフトフェア(長岡千秋の森)
5月	13(月)～17日(金)	音楽ウイーク
6月	3日(月)～7日(金)	ミニえんま市
10月	7日(月)～11日(金)	運動会
10月	19日(土)	国営越後丘陵公園見学
11月	11日(月)～15日(金)	音楽ウイーク
11月	16日(土)	アルフォーレギャラリー見学
12月	16日(月)～20日(金)	クリスマス会
12月	21日(土)	忘年会
2月	3日(月)～7日(金)	節分

10. 給 食

給食会議を活用して、消費税増税に伴う食材の変更等の対応、災害用の水と食品の備蓄品等の確認、新型コロナウイルス感染症防止対応等について協議した。医師の指示がある9名へ療養食を提供した。アレルギー8名、禁止食品13名、ミキサー食10名へ対応した。

検食簿の「色彩」「盛り付け」の評価について、「普通」に加えて「良い」の評価があった。汁物の具についてメニューに記載(10月以降)し、食事内容のわかりやすい説明に努めた。ブログで写真を掲載した。

① 給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (g)	炭水化物(g)		カルシウム (mg)
					食物繊維(g)	
数 値	633	22.6	14.9	97.5	4.7	135.0
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	レチノール活性当量 (μg)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数 値	2.3	251.0	0.28	0.30	29.0	3.0

② 食品構成

(単位；g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び 甘味類	豆類	種実類	野菜類	
	米類	小麦粉(そ の他)					緑黄色野菜	その他野菜
数値	81.3	8.7	18.4	8.0	14.4	0.3	56.7	74.7
食品	果実類	きのこ類	藻類	魚介類	肉類	卵類	乳類	油脂類
数値	9.0	7.3	1.0	20.8	28.6	8.1	6.3	3.2
食品	菓子類	嗜好飲料 類	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表2015年版(七訂)搭載 に準ずる。			
数値	—	40.7	171.0	7.5				

③ 食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
昼 食	12:00	行事食の提供有
おやつ	14:30	手作りおやつ、お菓子、飲み物

④ 行事食

月	日	行 事	献 立 (おやつ)
6	3(月)	えんま市	鮭の和風ピラフ、野菜スープ、塩焼きそば、やきとり、ほうれん草のサラダ、プリン
	4(火)		ツナとごぼうのカレー炊き込みご飯、味噌汁、お好み焼き、フライドポテト、大根サラダ、ピーチゼリー
	5(水)		海苔と炒り卵のご飯、味噌汁、焼きそば、チキンナゲット、かぼちゃと豆のサラダ、リンゴゼリー
	6(木)		枝豆の混ぜご飯、味噌汁、お好み焼き、じゃが芋バター煮、春菊の中華和え、杏仁豆腐
	7(金)		炒飯、中華スープ、焼きそば、春巻き、グリーンサラダ、グレープゼリー
12	16(月)	クリスマス	カレーピラフ、コーンポタージュ、ミートローフ、ほうれん草のサラダ、ティラミス
	17(火)		チキンライス、コンソメスープ、鱈のパン粉焼き、大根の柚子ポン酢和え、ロールケーキ
	18(水)		ちらし寿司、すまし汁、玉子サラダフライ、コールスローサラダ、ロールケーキ
	19(木)		きのこベーコンの炊き込みご飯、かき玉汁、鶏肉のマーマレード焼き、ひじき和え、いちごケーキ
	20(金)		中華おこわ、チンゲン菜のスープ、かれのいのバターポンソテー、白菜とコーンのサラダ、ロールケーキ

11. 災害防護訓練

11月に元気館全体の避難訓練(火災想定、消火訓練、避難場所玄関)に参加した。9月は、利用者参加による日中の避難訓練を実施した。日常的に、訪問者情報を共有できるよう、朝と夕方のミーティングを活用し、職員間の情報共有に努めた。10:00と15:00のデイ内外の巡回、月に1回のデイ屋外の巡回を継続した。3月は、新型コロナウイルス感染症予防のため、訓練を中止した。

月	訓 練 項 目
4	火災想定(消火訓練、避難場所車庫)
5、6	火災想定(消火訓練、避難場所車庫)、津波発生時の避難手順確認等

月	訓練項目
7	地震及び火災想定（消火訓練、避難場所車庫）、担架使用
8	火災想定（消火訓練、避難場所車庫）
9	地震及び火災想定避難訓練（日中、利用者参加による訓練実施）
10	風水害想定訓練（送迎時）
11	元気館全体火災想定（水消火器に使用による消火訓練、避難場所玄関）
12	高所避難（風水害、津波等）手順の確認等
1	高所避難（風水害、津波等、避難場所元気館2階）、車椅子での階段使用訓練
2	不審者侵入防止訓練

12. 職員の配置状況（令和2年3月31日現在）

職種	員数	常勤		非常勤		備考
		専従	兼務	専従	兼務	
センター長	1		1			社会福祉士
サービス管理責任者	1		1			介護福祉士
サービス提供責任者	1	1				介護福祉士
医師（嘱託）	1				1	内科
看護師	4		2	1	1	正看護師（3） 准看護師（1）
支援員	10	1	5	3	1	介護福祉士（1）
機能訓練指導員	1				1	正看護師
相談支援専門員	4	2	2			社会福祉士（2） 介護福祉士（2）
訪問介護員	5	1	1	2	1	介護福祉士（2）
運転員	2			2		普通2種免許（1） 大型免許（1）
事務員	1		1			

- ・令和元年6月6日から、臨時支援員1名が産前休暇を取得した。
- ・令和元年6月17日付で、パート支援員（産休代替）を1名雇用した。
- ・令和元年7月5日から、臨時支援員1名が産後休暇、育児休暇を取得した。
- ・令和元年9月2日付で、パート看護師を1名雇用した。
- ・令和元年9月13日付で、パート看護師1名が退職した。
- ・令和2年3月31日付で、パート看護師1名が退職した。

13. 職員研修

介護用リフト研修、介護技術に関する研修会を行った。研修参加後の伝達研修を中心とした研修を6回行った。相談支援事業所視察研修を行った。施設外研修に、延べ28名が参加した。

13-1 内部研修

① 法人（交換）研修

年月日	内容
10月2日	主任・サービス管理責任者研修（松風の里へ派遣、1名）
10月9日	主任・サービス管理責任者研修（松風の里から派遣、1名）

② 施設（集合）研修

年月日	講師	内容
5月17日	(株)アビリティーズ・ケアネット 佐藤 貴志様	介護用リフト研修会

年 月 日	講 師	内 容
6月21日	健康推進課 理学療法士 三井田善之様	介護技術研修会

③ 施設（研修報告・意見交換）研修

年 月	内 容
7月	「新人職員とエルダー」「接遇」
8月	「介護技術、立ち上がりリフト」「強度行動障害支援者養成研修」「個別面談」
9月	「自閉スペクトラム症」「ICF」「利用者アンケート①」「職員自己評価」
10月	「摂食嚥下機能向上研修」「虐待防止チェック」
11月	「利用者アンケート②」「笑いヨガ」
12月	「障害者虐待防止・権利擁護研修」「強度行動障害支援者養成研修」「自閉スペクトラム症」

13-2 外部研修

① 外部（視察）研修

年 月 日	視 察 先	内 容
8月16日	中越福祉社会障がい者支援センターあさひ	法人内計画相談、長岡市内委託相談等
10月7日	長岡福祉協会相談支援センター小千谷さくら	小千谷駅待合室内の事業所見学等

② 外部研修

年 月 日	内 容	研修実施者	参加者
5月29日	安全運転講習会	柏崎地区交通安全協会	1
5月29日	依存症支援者研修会	柏崎地域振興局	2
6月5日	エルダー研修（新任職員育成担当者研修）	新潟県社会福祉協議会	1
7月4日	接遇研修（初任者コース）	新潟県社会福祉協議会	1
7月8日	積水ハウス障害福祉セミナー	株式会社積水ハウス	1
7月18日	持ち上げない・抱え上げない介護の実践	株式会社ケンブリッジ	1
7月18日	安全運転管理者等講習会	新潟県公安委員会	1
7月23～25日	社会福祉法人経営者研修会経営管理コース	全国社会福祉協議会	1
7月29日	安全運転講習会	柏崎地区交通安全協会	1
7月30日	精神障害の理解（総合失調症・発達障害）	長岡地域振興局	1
8月10～11日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	新潟県	1
8月23日	摂食嚥下機能向上に関する研修会	国立病院機構新潟病院	1
9月14日	新潟県療育研究会第3回学術集会	同上	1
9月25～26日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）	新潟県社会福祉協議会	1
10月4日	働き方改革関連法に関する説明会	働き方改革推進センター	1
10月18日	ひきこもりを考える	ひきこもり支援センター	1
10月25日	柏崎地区福祉施設協議会研修会「笑いヨガ」	柏崎地区福祉施設協議会	2
11月8日	サービス管理責任者更新研修	新潟県コロニー白岩の里	2
11月18日	障害者虐待防止・権利擁護研修	新潟県	1
12月7～8日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	新潟県	1
12月10日	若年性認知症支援者研修	柏崎厚生病院	1
12月11日	自閉症スペクトラムの理解と支援	長岡地域振興局	1
12月13日	地域包括ケアシステムを考える研修会	精神保健福祉センター	1
1月29日	重度訪問での必要知識を学ぶ	国立病院機構新潟病院	2
計		24回	28名

14. ボランティアの受け入れ

サマーチャレンジボランティア2名、音楽ボランティア67名、行事ボランティア37名の受け入れを行った。エアロビクス講師1名を依頼した。

名 称	回 数	人 数	内 容
サマーチャレンジボランティア	1	1	利用者との交流等
同上	1	1	同上
音楽ウイークボランティア	5	4～16	音楽（楽器）を通じた交流
ミニえんま市ボランティア	5	1～3	行事参加
運動会ボランティア	4	1～3	同上
音楽ウイークボランティア	3	1～12	音楽（歌）を通じた交流
音楽ウイークエアロビクス講師	1	1	体力向上
クリスマス会ボランティア	4	1～10	マジック、レクリエーション
計	24回	107名	

15. 視察・研修・慰問の受け入れ

中学生の職場体験学習2名、特別支援学校教員研修1名、県立高校生見学・交流8名、市立中学生見学・体験6名の受け入れを行った。

年 月 日	名 称	人 数
7月30、31日	柏崎市立南中学校2年生職場体験学習	1
8月6日	翔洋中等教育学校2年生職場体験学習	1
7月25日	はまなす特別支援学校教員研修	1
10月21日	県立柏崎総合高等学校2年生見学・交流	8
11月8日	市立瑞穂中学校3年生見学・体験	6
計	6日	17名

16. 実習の受け入れ

保育実習2名の受け入れを行った。

期 間	日 数	学校・学年	種 類	人 数
8月19～30日	10日	新潟青陵大学短期大学部幼児教育学科（2年）	保育実習	2
計		1回		2名

17. 苦情相談

平成31年度・令和元年度に受け付けた苦情はなかった。

18. 事業計画等に対する評価

(1) 多機能型の日中活動支援事業の質の向上への取組

柏崎市指定管理の最終年度に向けて、事業継続のための情報収集等に努めた。柏崎市議会（文教厚生常任委員会）傍聴、こころの相談支援課と児童発達支援センターの指定申請に関する情報交換、柏崎市福祉保健部と協議を行った。利用者の減少に対応した定員変更を行った。児童の入浴支援の事業（地域活動支援センターⅡ型事業の一部）を放課後等デイサービス（定員5名）に変更した。利用者の期待に応えられるサービス提供のために、事業を継続できるよう努めた。

利用者支援及び支援後のケース記録への記載、要望の聞き取り及びアセスメントの更新、個別支援計画（案）の作成、個別支援計画検討会議、ご本人（ご家族）への説明と同意の手順を確実に実施した。サービス管理責任者が中心となり各支援員で分担した。利用者支援の共通認識を持つための体制整備につながった。

(2) 地域連携室（仮称）開設に向けた取組

「相談支援事業所 みにころ」をフォンジェ（柏崎市ショッピングモール）内に開設できるよう準備を進めた。準備を進めるにあたり、他法人2か所の相談支援事業所を視察し、結果を事業所内、法人内で共有した。

法人内の相談支援事業を一本化し、当事業所で計画相談事業を実施していくことについて協議し、令和2年7月から実施予定である。サービス等利用計画の客観性を担保し、利用者のサービス向上につながることに期待したい。

(3) 事業所環境の整備

車椅子体重計、パソコン4台を整備し、事業に活用した。職員休憩室内の不用品を処分し、個人ロッカーを整備することにより、職員が働く環境の向上につながった。